

機械器具 1 手術台及び治療台
一般医療機器 手術台アクセサリ JMDNコード : 70469000

消毒盤台 L 型水平 M

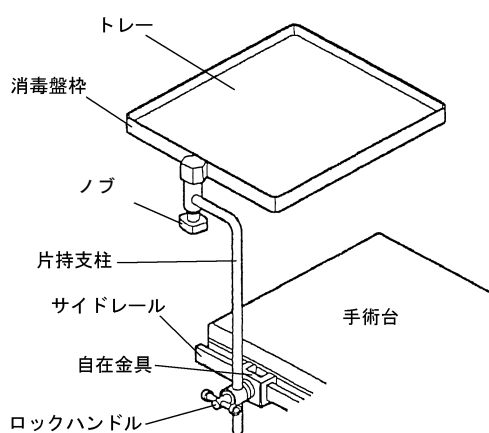
【禁忌・禁止】

〈使用方法〉

当社及びタカラ Belmont 製の高さ 32mm×板厚 9mm の
サイドレールを使用する手術台以外には、取り付けて
使用しないこと。[安全性が保証できないため]

【形状・構造及び原理等】

1) 外観図



*2) 機器の仕様

- *①自在金具のロックハンドル操作により、片持支柱を 420mm の範囲で昇降させることができます。
- ②自在金具のロックハンドル操作により、片持支柱を横方向及び縦方向に 360° 回転させることができます。
- ③ノブ操作により、消毒盤枠を 360° 回転させることができます。
- ④許容負荷荷重 : 消毒盤枠中央部に 40N (4kgf)

〈動作保証条件〉

下記の条件にて使用すること。(ただし、結露しないこと)
周囲温度 10~40℃ 相対湿度 30~75% 気圧 700~1060hPa

【使用目的又は効果】

本機は、手術台に取り付け、手術用具置き台として使用します。

【使用方法等】

1) 取付・設置 (組立・据付)

- ①自在金具を手術台のサイドレールに取り付け、上から片持支柱を差し込み自在金具のロックハンドルを時計回りに廻して固定します。

- ②各部のロックハンドル及びノブ操作で固定と解除が正常に作動することを確認します。

2) 操作方法又は使用方法

- ①消毒盤枠を支えながらノブを反時計回りに廻してゆるめ、消毒盤枠を任意の位置に回転させ、ノブを時計回りに廻して固定します。

【使用上の注意】

〈重要な基本的注意〉

- ①ロックハンドル及びノブが確実に固定されているか確認すること。確実に固定されていないまま使用しますと、機器が動いたり、落下するなどの思わぬ事故の原因になります。
- ②トレイを乗せたままでロックハンドルまたはノブを操作するときは、消毒盤枠を支えながら操作すること。消毒盤枠を支えずに操作しますと、トレイが落下するなどの思わぬ事故の原因になります。
- ③ハンドル部に意図せず使用者や患者が触れることのないよう注意すること。機器が動いたり、落下するなどの思わぬ事故の原因になります。
- ④消毒盤枠中央部に許容負荷荷重 (4kgf) 以上の負荷を加えないこと。機器の破損の原因になります。
- ⑤使用後は清掃作業を行い、機器を清潔に保ち使用すること。
[清掃作業が不十分な場合は、菌の発生により人体に影響を及ぼす場合があります。機器を清潔に保ちご使用ください。]
・使用可能な洗浄・消毒液の一例として、アルコール (70%)、4 級アンモニウム系・塩化ベンザルコニウム (0.1~0.2%) をご使用ください。
- ⑥金属腐食性の強い消毒液 (ポピドンヨード、次亜塩素酸ナトリウムなど) は使用しないこと。[本体の腐食の防止]

【保管方法及び有効期間等】

〈保管方法〉

- ・保管環境
周囲温度 -20~60℃ 相対湿度 10~90% 気圧 500~1060hPa

〈耐用期間〉

本機の耐用期間は 10 年です。(自己認証 (当社データ) による)

本製品には取扱説明書がありますので、必ず確認してください。

※正規の使用方法、保守点検、消耗品などの交換を行った
場合に限る。

【保守・点検に係る事項】

〈使用者による保守点検(日常点検)〉

- ・ サイドレールへの接続状態の確認。
- ・ 外観の破損状態の確認。
- ・ 取付状態の確認。
- ・ 各部が正確かつ安全に作動することの確認。
- ・ ゆるみ、ガタつき、傾き、臭気などの確認。

以上について点検を行い、少しでも「おかしいな？」と感じ
たらすぐに使用を中止すること。

しばらく使用しなかった機器を再使用するときは、使用前に
清掃を行なった後、必ず機器が正常にかつ安全に作動するこ
とを確認すること。

〈業者による保守点検〉

業者による保守点検を実施する場合は、弊社または医療機器
修理業者などの有資格者へ依頼してください。

●機器を廃棄するとき

機器や交換した部品を廃棄するときは、感染予防を十分行い、
その時点での法規制に従い、適切な処理をしてください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

タカラメディカル株式会社

TEL：06-6499-3461

販売業者